

## 第 70 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 6 年 8 月 7 日(水)午前 10:30~11:30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数：6 名

出席委員：4 名

出席委員の氏名：野村悠一郎、小倉拓、安達克典、

橋智史

欠席委員の氏名：畠守彦、浅山誠一

放送事業者側出席者氏名：泉清、安田豊、洞周作、

生田奈穂、濱田由希子

欠席者氏名：安田正、大崎健志

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

□番組聴取

6 月 15 日(土)13:00~15:54 に放送しました特別番組「紀南の海は

最&高！ビーチアルティメット国際大会ラジオ！」と、7 月 1 日(月)

から 5 日(金)に放送しました期間限定コーナー「熊野と植芝盛平翁」のダイジェスト音源をご聴取、ご意見・ご感想

- 3) その他番組への質問・意見
- 4) 今後の放送に対する意見・要望
- 5) その他

局側挨拶・報告

#### 1. 局側挨拶

泉：お暑いなかお集りいただき、ありがとうございます。近況報告といたしましては、暑い暑いと言われる田辺祭が熱かったということですが、今街なかで起こっているいろんなイベントなどにも取材に行いますが、外に出て行くものばかりなので暑い中大変な思いをしているところです。それ以外については、パーソナリティさんも増えてきておりまして、今一番遠いところで愛知県から通ってくれている人もいます。

#### 2. 議題

～番組聴取～

6月 15 日(土)13:00～15:54 放送、特別番組「紀南の海は最&高！」

## ビーチアルティメット国際大会ラジオ！」について

小倉：おもしろいイベントをしているなと思いましたし、それを紹介しているのも良いなと思いました。海外の方たちのインタビューを英語の通訳入れて生の声が聴けるのはすごく良い事だなと思いました。ただ、BGMが大きいのが気になりました。日本語だったら少々聴き取り辛くても聞こえるとおもうのですが、英語をボソボソと喋られると余計分かりづらいので、BGMが大きいというか、あるいはマイクの方のボリュームを上げた方が聞きやすいかなと思いました。どこでBGMは入れていたのですか？この放送は録画？生放送？

生田：生放送です。その場でBGMを流しながらお話をいただいていました。

安田：確かに英語の部分は聞き取りにくかったので、BGMは落とした方が良いですね。英語が理解できるかどうかはともかく、言葉として聞き取れるようにしておかないといけないですね。

小倉：たぶん通訳の方が意訳で喋ってくれるので、英語が分かる人は元の言葉で聞き取れた方が良いと思うので、バランス調整が必要ですね。

橋：通訳の方は雇われた方なのですか？

泉：田辺の方です。トッドさんです。

安田：どこの国の方ですか？

生田：アメリカです。

野村：外国人を扱うのが難しいですね。人によってはわかる英語わからない英語がありますから。

安田：この頃 FM TANABE でも外国の方に取材することも増えてきました。どなたかに通訳をしてもらいながらやっていますが、熊野古道に来るかたも増えていますし、いろんな方が来ますのでオリジナルの言語も聞こえるように放送出来るように心がけていきましょう。

～番組聴取～

7月1日(月)から5日(金)放送、期間限定コーナー「熊野と植芝盛平翁」について

安達：大変貴重な経験のお話を聴かせていただいたなと思いました。田辺の各中学校でも合気道をやっているところもありますし、スポーツ推進で冬場に一般の方々に向けて指導してもらっていて、僕自身もやらせていただきましたが、これは凄いなと。オリンピックの選手みんなが合気道を学んだらメダルもっと獲れるんじゃないかなと

思うくらい凄かったです。10年ほど前ですが北海道の白滝村に行くツアーガあったのですが、植芝盛平翁つながりで田辺市と姉妹都市にもなっているので、そういうご縁を繋いでいって番組とか出来たらいいんじゃないかなと感じました。

橋：今現役でおられる方が植芝盛平翁と一緒に合気道しているのがすごいなと思いながら、そういえば僕も小学校の時に夏休みの間合気道を習いに行ってたことを思い出しました。その時は意味がわかつてなかったのですが、今思えばもっと真面目にやっておけばよかったなど感じたのが感想です。

小倉：これもインタビュー相手の声がボソボソと喋っていたので、BGMを下げた方が良いと思いましたが、話の内容は面白かったです。ただ、コーナータイトルの「熊野と」というのが分からなくて。ダイジェストにはなるのですが熊野と関連はしていたのですか？

生田：今回のインタビュー相手が合気道関連の方だったので、ダイジェストで切り取った部分では植芝盛平翁とのお話がメインにはなりましたが、他のインタビューでは熊野本宮大社の宮司が、熊野のお話をしてくださいました。

小倉：合気道は熊野だから生まれたのではないか、みたいなお話を聞

いた事があったので、そういう切り口はおもしろいなと思います。

野村：以前ヨーロッパに行った時、合気道の盛んな地域があるということで足を運んだのですが、そこで植芝盛平翁と生まれ育ったところが同じだと話したら、割れんばかりの拍手が巻き起こって見本を見せてくれとなつたわけです。でも僕はできないから冷や汗ものでした。

安田：ヨーロッパのどこの国ですか？

野村：ドイツでした。

安田：あの辺は人気がすごいからですね。

生田：わたしも合気道出来ませんが、この地域にいる人はみんなさわりだけでも出来るようになっておいた方がいいですね。

泉：今学校で取り組みとしてやっていますが、指導出来る人がいないというのが課題とみたいです。

安田：全学校で取り組んでいるのですか？

泉：徐々に増やしていってるみたいです。

安達：うちの娘も合気道の授業が面白いって楽しみにしていました。

安田：特にヨーロッパの方では、我々が思うより遥かに合気道のことをよく知っていますね。東京などで外国の方に「田辺出身」だと言う

と植芝盛平翁とか合気道の事を知っていて、驚いたような反応があります。

泉：そろそろ世界大会も。

安達：秋にシンポジウムがありますね、国際フォーラムで。

泉：世界大会はこれまで 2 回ほど田辺でやってるんですよね。

安達：国際合気道サミットセミナーが 10 月 2 日から田辺であるみた  
いです。

生田：情報をいただきありがとうございます。また何らかの形でラジ  
オから発信出来たらいいなと思います。

### 3. その他番組への質問・意見

特になし

### 4. 今後の放送に対する意見・要望

特になし

### 5. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月 日

特になし

## 6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

## 7.その他参考事項

特になし